

主な議案の概要

提出議案と議決結果

市長提出議案	158件…原案どおり可決158件
議員提出議案	7件…原案どおり可決6件、否決1件
請願	1件…不採択

●平成28年度熊本市一般会計予算

〈主な内容〉

- 学校教育コンシェルジュ（※1）設置経費…829万3千円
- いじめ・不登校対策経費…2,702万1千円
- スクールソーシャルワーカー配置事業…3,539万円
- 小中学校空調設備整備経費…14億3,320万円
- 町内自治振興育成経費…3億180万円
- 災害時要援護者支援経費…1,364万1千円
- 市電路線延伸検討調査経費…1,300万円
- 熊本駅白川口（東口）駅前広場整備事業…1億8,390万円
- 空家対策推進事業…3,900万円
- 企業立地促進事業…8億8,390万円
- （仮称）熊本城ホール整備事業…102億9,470万円
- 桜町・花畑周辺地区広場等整備事業…5,650万円
- 桜町地区再開発事業…34億2,800万円
- 下通A地区優良建築物等整備事業…4億4,840万円
- 観光WEBサイト構築事業…1,640万円
- ラグビーワールドカップ2019推進事業…8,837万6千円
- 硝酸性窒素削減対策経費…3億3,680万円
- 夢と活力ある農業推進事業（TPP 対策）…3,000万円

○畜産振興総合対策経費（TPP 対策）…810万円

●熊本市役所駐車場使用条例の一部改正について

熊本市役所駐車場の供用日及び供用時間を変更するため。
（供用日は1月1日から12月31日まで、供用時間は午前0時から午後12時までの24時間となりました。）

●熊本市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令（平成28年政令第33号）の施行に伴い、国民健康保険料の賦課限度額及び低所得者に係る保険料軽減措置の内容を見直すため。

●熊本市基本構想（※2）及び熊本市基本計画（※3）の策定等について

基本構想及び基本計画の策定及び廃止について、地方自治法第96条第2項の規定により議会の議決すべき事件を定める条例（平成19年条例第61号）第2条の規定に基づき、市議会の議決を求めるため。

●連携中枢都市圏（※4）の形成に係る連携協約の締結について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定により、本市と本市以外の熊本連携中枢都市圏市町村（宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町及び山都町の16市町村）との間における事務の処理に当たっての連携を図るため、連携中枢都市圏の形成に関し協議により、地方自治法第252条の2第3項の規定に基づき、市議会の議決を求めるため。

代表質問

第1回定例会においては4会派が代表質問を行いました。主な質問内容は次のとおりです。
なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

自民党



坂田 誠二議員

質問 1

平成28年度市政運営方針と予算編成について

平成28年度は大西市政の真価が問われる年になると推察するが、市政の運営方針について見解を求める。併せて、当初予算編成において重要視した点や、新しいまちづくりの構築と財政健全化の整合性を図るための工夫は何か。

答 弁

指定都市としてセカンドステージを迎える本市のポテンシャルを高め、めざすまちの姿を実現するため、厳しい財政環境の中、選択と集中の厳格化に取り組み、第7次総合計画（※5）などの重点的取り組みに予算の優先配分を行った。

その他の質問項目

- 中期財政見通しと今後の対策について
- 公共施設等総合管理計画（※6）と花畑町別館解体後の跡地利用について

市民連合



田尻 将博議員

質問 1

子どもの貧困対策と奨学金制度について

子どもが貧困から抜け出すには、教育の機会を十分に補償することが重要であり、貧困の連鎖を防ぐ公的な安全網を整備することが急務である。本市における貧困対策と、奨学金制度の拡充を求める。

答 弁

貧困対策として、学習支援事業、児童手当の支給、保育料等の減免等を行っており、今後も実態把握に努め、効果的な貧困対策を展開していく。奨学金制度については、国の状況を見ながら本市のあり方を検討する。

その他の質問項目

- 熊本市総合計画基本計画他について
- 熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略（※7）について
- 18歳投票について
- マイナンバー制度について
- 熊本駅と田崎市場の改修について

公明党



鈴木 弘議員

質問 1

子ども医療費の中学3年生までの拡充

大西市長は今回の提案を、どのように感じているか。また、どのような検討を行ったのか。その上で、市民の負担が変わり、戸惑いがあると思うが、どのように市民の理解を求めるのか。

答 弁

子ども医療費に係る安心感を増大させることが重要と判断した。早期実現を図るとともに、持続可能な制度となるよう検討を重ねた。市民の皆様には市政だより等その他、直接対話等の機会を捉え説明を行っていく。

その他の質問項目

- 平成28年度における市長の考えについて
- 少子化対策について
- 熊本市人口ビジョン、しごと・ひと・まち創生総合戦略について
- 熊本市の特徴とリーディングプロジェクト（※8）について
- 第7次総合計画について
- 少子化対策から見た総合計画について

くまもと未来



白河部貞志議員

質問 1

出張所等の再編に向けた今後の取り組み

出張所の再編を進めるにあたっては、スケジュールありきではなく、地域の核が失われるかもしれないという地域住民の思いや、移動手段が限られる高齢者の不安などをしっかりと受け止め、丁寧に取り組んでもらいたい。

答 弁

再編する出張所等窓口は、平成29年度にサービスコーナー化した後、マイナンバー制度や窓口の利用状況を検証し、段階的に廃止する方針。また、（仮称）まちづくりセンターでの取次業務等移動手段が限られる高齢者等への対応も検討する。

その他の質問項目

- 総合計画とマニフェストについて市長の考え
- 人口減少社会でのコミュニティについて
- 安全、安心な地域づくりについて
- コンパクトシティと生活拠点について

おしえて ひごまる



学校教育コンシェルジュ（※1）…学校教育に関する保護者からのあらゆる相談を受け付け、学校と保護者等関係者の橋渡し役となって課題の解決を図る相談員。
熊本市基本構想（※2）…これからの熊本市がめざすまちの姿を描き、これを実現していくためのまちづくりの基本方針を明らかにするもの。
熊本市基本計画（※3）…基本構想に掲げるめざすまちの姿を実現するための具体的な取り組みを体系化したもので、市民の皆さんと行政の共通・共有するまちづくりの指針であり、総合的・計画的な市政運営のための設計書となるもの。
連携中枢都市圏（※4）…相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市と近隣の市町村で構成する圏域。
第7次総合計画（※5）…総合的かつ計画的な市政を推進するため、基本構想並びにその実現のための基本計画及び基本計画に掲げる「重点的取り組み」や「施策」を実現するための様々な事業を推進することを目的とした実施計画をまとめたもの。昭和39年に第1次総合計画が策定され、平成28年3月に現行の第7次総合計画が議決された。
公共施設等総合管理計画（※6）…公共施設の老朽化や人口減少社会などの課題に対応し、財政の持続可能性を維持することを目的に、今後の市有財産の管理方針を示すもの。
熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略（※7）…まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある本市を創生するための施策を取りまとめたもの。
リーディングプロジェクト（※8）…地方創生の取り組みをけん引し、より効果的に推進していくため、本市の強み、特性を活かした取り組みを政策横断的に取りまとめたもの。